

第 39 回 J I A 東海支部設計競技・応募要項

日本建築家協会東海支部が主催する「建築設計競技」は、最も伝統ある事業のひとつとして 1984 年に第 1 回が開催され、2023 年で 39 回目を数えます。

今日、社会はあらゆる局面における情報化の進展に伴い加速的に変化し続けています。2011 年に発生した東日本大震災は人々の社会に対する意識・行動に顕著な変化をもたらしました。また格差、貧困問題等の広がり、生きづらい社会をつくりつつもあります。2020 年初頭からは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人々の暮らしは一変し、「新たな生活様式」を余儀なくされています。

この設計競技は、このような複雑かつ不安定な社会において、住まう空間の多様なあり方と可能性を問うものです。



超 空 想 住 宅 へ

【空想】（読み）くうそう、（英語表記）fantasy

〔名〕 現実とはかけ離れて新しく作り出された独特の想像のこと。

今、建築界に新たな風が吹き始めている。

BIMやデジタルファブリケーション技術から始まり、midjourneyなどの画像生成AIやChatGPTにより、今までには考えられなかった建築が具現化するのではないかと話題である。これは、言い換えると、これまで空想で留まった建築が現実化する可能性を示唆しているのではないだろうか。さらには、midjourneyやChatGPTなどの進歩は、建築を設計する行為自体へも影響し、近い将来の建築設計は大きな変革を迎え、AI化が進むと言われている。

さて、皆さん、住宅はどこへ向かうと思いますか。

これまで通り、設計者が思考を巡らせ、手を動かして建ち現れる住宅には、もう魅了されないのだろうか。

様々な最先端技術のみを駆使して建ち現れる住宅は、どのくらい魅力的なのだろうか。

はたまた、様々な最先端技術や深い思考を織り交ぜて建ち現れる住宅は、どうなるのだろうか。

多様な手法・解釈がある今だからこそ、空想を超えた、未だかつて体感したことのない「超空想住宅」を募集する。

文：橋本 雅好（審査員長）

【募集要項】

1. 表現方法

①プレゼンシート

用紙の大きさはA2判（420mm×594mm）とします。

着色など、表現上の制約はありません。

各自の提案内容に沿って自由に提案してください。

※計画地、計画面積、家族形態、生活様式等の制限はありません。

また独立住宅、集合住宅、その他の居住形態の制限もありません。

- ・用紙は縦使い、または横使いとし、1枚（片面）にまとめてください。
- ・パネルなど巻けないものは不可とします。また模型などは受付しません。
- ・プレゼンシートには氏名や暗号等目印となるものの記入は認めません。

②プレゼンシートのデータ：PDF形式

- ・データの保存名称には、作品名を記してください。
- ・データはUSBメモリまたはCD-R、DVD-Rで提出してください。
- ・ケースまたは盤面に作品タイトル、氏名を明記してください。

2. 応募資格

応募資格についての制限はありません。

3. 応募方法

専用の申込用紙に必要事項を記入の上、プレゼンシートとデータ（PDF形式）とともに設計競技事務局に提出してください。

プレゼンシートは、折ったり丸めたりしないでください。

申込用紙は、プレゼンシートに貼り付けないでください。

（申込用紙はJIA 東海支部設計競技 Web サイトよりダウンロードできます）

URL <http://www.jia-tokai.org/competition/top.htm>

4. 応募締切

2023年10月10日（火）当日消印有効。

5. 提出先

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄四丁目3の26 昭和ビル5階
（公社）日本建築家協会東海支部

6. 審査員（順不同・敬称略）

審査員長	梶本 雅好（梶山女学園大学准教授）
ゲスト審査員	中山 英之（東京藝術大学准教授 / 中山英之建築設計事務所）
審査員	亀井 暁子（静岡文化芸術大学教授 / JIA会員）
	山岸 綾（中部大学准教授 / サイクル・アーキテクト）
	山口 千乃（CEN ARCHI）
	吉元 学（愛知淑徳大学教授 / ワーク・キューブ / JIA会員）

7. 審査・入賞者発表

①審査方法

1次審査会で、入賞者（金賞候補1名、銀賞候補2名、銅賞候補3名、奨励賞 若干名、ゲスト審査員特別賞 若干名）を選出します。

上位6名（金賞候補1名、銀賞候補2名、銅賞候補3名）が2次公開審査会に進み、奨励賞 若干名、ゲスト審査員特別賞 若干名は表彰式への参加となります。

2次公開審査会のプレゼンはパワーポイントで行うこととします。

②1次審査会

日時：2023年10月21日（土）

1次審査通過者には11月上旬に通知予定です。

③2次公開審査会・表彰式・記念講演会

日時：2023年12月2日（土）

会場・その他 詳細については11月上旬にWebサイトにて公表予定です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、リモート審査になる可能性があります。

8. 表彰

①表彰

・金賞	1点	賞状、商品券 10万円、記念品
・銀賞	2点	賞状、商品券 5万円、記念品
・銅賞	3点	賞状、商品券 3万円、記念品
・奨励賞	若干名	賞状、商品券 1万円、記念品
・ゲスト審査員特別賞	若干名	賞状、商品券 1万円、記念品

②発表

12月中旬頃 Web サイトにて公開します。

入賞者には主催者から直接連絡致します。

入賞者の発表は、主催団体のホームページ及び会誌で発表予定です。



9. 著作権

本設計競技の応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、発表する権利は主催者が保有するものとします。(主催団体がこの事業の趣旨にもとづいて、応募作品を会誌・ホームページに掲載、図書出版または展示のために用いる場合、入賞者はこの使用を無償で認めるものとします。)

10. その他

①質疑応答は行いません。

②入賞作品及び最終選考に残った作品以外の作品で返却希望者には、審査結果発表後2週間以内であれば返却します。ただし、設計競技事務局での直接受け取りに限り返却します。郵送での返却は行いません。

③過去入賞作品の公開

設計競技 Web 上で 第 21 回～第 38 回までの入賞作品を公開しています。

URL <http://www.jia-tokai.org/competition/archives.htm>

④「2 次公開審査会・表彰式・記念講演会」のご案内

日時：2023 年 12 月 2 日 (土)

会場：TOTO テクニカルセンター名古屋 プレゼンルーム 1・2 を予定

当日のタイムスケジュール：未定

(参考) 過去の設計競技タイムスケジュール例

作品展示	12:00～17:30
プレゼン(6名)	12:30～14:10
休憩	14:10～14:20
公開審査	14:20～15:00
学生賞・ゲスト審査員賞講評	15:00～15:40
表彰式	15:40～15:50
休憩	15:50～16:00
記念講演会	16:00～17:00



⑤講師：中山 英之（東京藝術大学准教授 / 中山英之建築設計事務所）

<プロフィール>

1972年 福岡県生まれ。
1998年 東京藝術大学美術学部建築科卒業。
2000年 同大学院修士課程修了。
2000～07年 伊東豊雄建築設計事務所勤務
2007年 中山英之建築設計事務所設立
2014年～ 東京藝術大学准教授

<受賞歴>

2004年 SD Review 2004 鹿島賞
2007年 第23回吉岡賞
2019年 グッドデザイン賞 金賞
2019年 JIA 新人賞 2019 など

⑥問い合わせ先

（公社）日本建築家協会東海支部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄四丁目3の2 6 昭和ビル5階

URL <http://www.jia-tokai.org/>

E-mail : shibu@jia-tokai.org

※お問い合わせはメールにてお願い致します。

主催：公益社団法人日本建築家協会東海支部

後援：一般社団法人日本建築学会東海支部

2023年6月15日 作成